

アリリーナ・イブブラギモヴァ ヴァイオリンリサイタル

渾身の無伴奏

新時代・天才ヴァイオリニスト

ALINA

I B R A G I M O V A

Solo Violin Recital

© Giorgia Bertazzi

ビバー：『ロザリオのソナタ』より パッサカリア

BIBER: Passacaglia in G minor from "Rosary Sonatas"

J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番

J.S. BACH: Partita for Solo Violin No.2 in D minor, BWV1004

イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第3番「バラード」

YSAÏE: Violin Sonata No.3 in D minor, "Ballade"

バルトーク：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ

BARTOK: Sonata for Solo Violin

2022 9/10 (土) 2:00PM開演 (1:15PM開場)
A 3,000円 B 1,000円 (全席指定/消費税込)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスク / JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

※未就学児童はご入場いただけません。※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合がございます。予めご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



文化力
POWER OF
CULTURE

発売日 6/19	チケット 取扱	●芸術文化センター 0798-68-0255 http://www.gcenter-hyogo.jp 芸術文化センター2階総合カウンター【6/21(火)より、残席がある場合のみ】 ●チケットぴあ https://pia.jp/t/ ●ローソンチケット https://l-tike.com ●イープラス https://eplus.jp
--------------------	------------	---

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

アリーナ・イブラギモヴァ 無伴奏リサイタル

演奏家と聴衆の間に存在する

いかなる距離感をも打ち破る — 英国ガーディアン紙

ロシア生まれ、イギリス育ちのアリーナ・イブラギモヴァ。音楽界の神童が集まることで知られるメニューイン音楽学校、世界屈指の名門ロンドン王立音楽院で学んだ後、早くから注目を集め、数々の国際コンクール入賞を経て、世界の名立たる指揮者、オーケストラとの共演を重ねています。

芸文センターには2016年、2019年にキアロスクーロ・カルテットのリーダーとして、また2017年には当代最高のデュオと称されるセドリック・ティベルギアン(ピアノ)とのリサイタルにつづき4度目、待望の無伴奏リサイタルでの登場です。静寂に満ちた舞台上には、ただ一人の奏者と1丁のヴァイオリン。ひとたび音を奏すれば、その小柄で可憐な姿から繰り出されるのは、想像を絶する技巧。エネルギーが迸るダイナミックで気迫に満ちた演奏、彼女が紡ぐ一音一音に観客は息をすることも忘れてしまうといえます。鮮烈な驚きが連続するリサイタル、どうぞご期待ください。

モダン楽器と巻ガット弦

ビリオド楽器(古楽器)、モダン楽器の両方で演奏するアリーナ・イブラギモヴァ。今回はモダン楽器、そして巻ガット弦を使用し演奏します。現代のガット弦=巻ガット弦は、ガットに金属のアルミやシルバーを巻いたもので、ガット弦ならではの豊潤で柔らかな音色や反応の速さを保ちつつ、より強いパワー、安定など、新旧の理想的な融合を果たしています。



© Giorgia Bertazzi

アリーナ・イブラギモヴァ (ヴァイオリン) Alina Ibragimova, Violin

バロック音楽から委嘱新作までビリオド楽器とモダン楽器の両方で演奏するアリーナ・イブラギモヴァは、2015年BBCプロムスでバッハ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータの全曲演奏を行い、英ガーディアン紙は、この公演を「イブラギモヴァの演奏の臨場感と誠実さには、演奏家と聴衆の間に存在するいかなる距離感をも打ち破る興味深い能力が備わっている」と評価、彼女の名声をさらに高めた。

21/22シーズンのハイライトは、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、ロンドン交響楽団等との再演の他、マーラー・チェンバー・オーケストラにデビュー。

これまでに、バイエルン放送交響楽団、ボストン交響楽団、クリーヴランド管弦楽団、ヨーロッパ室内管等と共演。また共演した指揮者には、ベルナルト・ハイティンク、サー・ジョン・エリオット・ガーディナー、ダニエル・ハーディング、フィリップ・ヘルヴェッヘなどがある。室内楽でパートナーを組むセドリック・ティベルギアンとは、ウイグモア・ホール、コンサートヘボウ、ムジークフェラインなどの他、ザルツブルク、オールドバラなどの音楽祭に出演、またキアロスクーロ・カルテット(弦楽四重奏)の創立メンバーとしても活動。

最新の録音は、バガニーニの「24のカプリース」とメンデルスゾーン「ヴァイオリン・ソナタ集」。使用楽器は、ゲオルク・フォン・オベルから貸与されたアンセルモ・ペローシオ(c.1775年製)。2016年、大英帝国勲章MBEを授与される。



© Giorgia Bertazzi

<チケットご購入のお客様へお願い>

新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。なお、お一人様2枚までとさせていただきます。※入場者数を制限して販売する場合があります。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されない方はご入場いただけません。(マウスシールド不可)※感染の再拡大等により、公演の中止や、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

ご来場前にウェブサイト掲載の(当センターをご利用のお客様へ)をご確認いただけますようお願いいたします

